

国連大学サステナビリティ高等研究所

所長 竹本和彦



2014年1月、国連大学サステナビリティ高等研究所の初代所長として就任。

国連大学に奉職する前は、環境省環境管理局長や地球環境審議官として気候変動、生物多様性、越境大気汚染といった地球環境問題に関する国家戦略など、持続可能な社会実現に向けた政策立案に取り組んだ。

OECD 環境政策委員会副議長（2004–2007年）、第18回国連持続可能開発委員会（CSD18）

共同議長（2010年）、生物多様性条約第10回締約国会議（CBD /COP10）の議長代行

（2010年）、国際応用システム分析研究所（IIASA）理事（2011年より）などを歴任。

東京大学で博士号を取得。また、ジョーンズ・ホプキンス大学高等国際研究大学院（SAIS）にて

国際公共政策修士号を取得。